

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公表番号】特表 2001-504696 (P2001-504696A)

【公表日】平成 13 年 4 月 10 日 (2001.4.10)

【出願番号】特願 平 10-523526

【国際特許分類第 7 版】

A 0 1 G 7/00

【F I】

A 0 1 G 7/00 6 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 19 日 (2004.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成 16.11.19 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成 10 年特許願第 5 2 3 5 2 6 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

氏 名 トイ ジョナサン グラス



3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 3

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



## 請 求 の 範 囲

1. 少なくとも1種の顔料を含み、紫外領域（約301-400nm）放射に対して少なくとも55%の反射率を有し、前記UV領域、可視領域（約400-700nm）および近赤外（約700-800nm）領域において透過及び吸収させるよりも多くの放射を反射させ、約700-2500nm領域において放射の少なくとも5%を透過させ、2500-25000nm領域の放射の少なくとも一部を透過させる、反射性植物処理材料。
2. 約700-2250nm領域において放射の少なくとも10%を透過させる、請求項1記載の反射性植物処理材料。
3. 約701-1000nm領域において放射の少なくとも14%を透過させ、約1001-1640nm領域において放射の少なくとも17%を透過させ、約1641-2200nm領域において放射の少なくとも12%を透過させる、請求項1記載の反射性植物処理材料。
4. グラウンドカバーである、請求項1～3のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。
5. 反射率および透過率が以下の表に示したものであり、前記反射率が約1mの焦点距離のCzesny Turner（チェスニー ターナー）モノクロメータに基づく高精度分光光度計システムによって測定され、2500nm範囲における前記透過率がBOMEN（ボーマン）DA8フーリエ変換赤外線分光光度計で2.5～22mmの範囲で測定される、請求項1～4のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

波長	総反射率	透過率
280～300	23～86%	0～77%
301～360	23～90%	0～77%
361～380	23～90%	0～77%
381～420	29～90%	0～71%
421～700	37～90%	7～63%
701～1000	29～89%	9～71%
1001～1640	30～90%	7～70%
1641～2200	18～93%	4～82%
2201～2500	10～96%	1～90%

6. 反射率および透過率が以下の表に示したものであり、前記反射率が約1mの焦点距離のCzesny Turnerモノクロメータに基づく高精度分光光度計システムによって測定され、2500nm範囲における前記透過率がBOMEN DA8フーリエ変換赤外線分

光光度計で2.5～22mmの範囲で測定される、請求項1～4のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

波長	総反射率	透過率
280～300	27～86%	0～75%
301～360	33～90%	2～67%
361～380	37～90%	5～63%
381～420	43～90%	6～57%
421～700	44～90%	9～58%
701～1000	40～89%	11～60%
1001～1640	35～90%	12～65%
1641～2200	24～93%	7～76%
2201～2500	15～96%	1～85%

7. 反射率および透過率が以下の表に示したものであり、前記反射率が約1mの焦点距離のCzesny Turnerモノクロメータに基づく高精度分光光度計システムによって測定され、2500nm範囲における前記透過率がBOMEN DA8フーリエ変換赤外線分光光度計で2.5～22mmの範囲で測定される、請求項1～4のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

波長	総反射率	透過率
280～300	37～86%	0～63%
301～360	41～90%	2～59%
361～380	51～90%	5～49%
381～420	51～90%	6～49%
421～700	54～90%	9～46%
701～1000	47～89%	11～53%
1001～1640	42～90%	10～58%
1641～2200	24～93%	7～76%
2201～2500	17～96%	1～83%

8. 反射率および透過率が以下の表に示したものであり、前記反射率が約1mの焦点距離のCzesny Turnerモノクロメータに基づく高精度分光光度計システムによって測定され、2500nm範囲における前記透過率がBOMEN DA8フーリエ変換赤外線分光光度計で2.5～22mmの範囲で測定される、請求項1～4のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

波長	総反射率	透過率
280～300	40～90%	2～30%
301～400	55～90%	4～30%
401～700	60～90%	10～40%
701～1100	50～85%	10～45%
1101～1650	50～85%	10～45%
1651～2250	40～75%	10～50%
2251～2500	25～60%	5～40%

9. ジルコニウム、ストロンチウム、バリウム、マグネシウムおよびカルシウム顔料から選ばれる白色顔料を含む、請求項1～8のいずれか1項記載の反射性植物処理材料

10. 白色顔料が5～50質量%の量で存在する、請求項9記載の反射性植物処理材料。

11. 白色顔料が10～30質量%の量で存在する、請求項9記載の反射性植物処理材料。

12. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、マグネシウムジルコネート、カルシウムジルコネート、ストロンチウムジルコネート、バリウムジルコネート、ケイ酸ジルコニウム、炭酸カルシウム、硫酸バリウム、酸化マグネシウム、炭酸ストロンチウムおよび炭酸バリウムから選ばれる、請求項9～11のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

13. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、硫酸バリウムおよび炭酸カルシウムから選ばれる、請求項12記載の反射性植物処理材料。

14. 炭酸カルシウムが0.5～3マイクロメートルの大きさの粒子として形成されている、請求項9～13のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。

15. アルミニウム、マグネシウム、ニッケル、銀、スズ、および亜鉛から選ばれる、少なくとも1つのメタリック顔料を含む、請求項1～14のいずれか1項に記載の反射性植物処理材料。

16. メタリック顔料が0.5～6%の量で存在している、請求項15記載の反射性植物処理材料。

17. アルミニウムがプラスチック材料中に存在している請求項9～16記載の反射性植物処理材料。

18. プラスチック材料が一軸配向されている、請求項17記載の反射性植物処理材料。
19. プラスチック材料が二軸配向されている、請求項17記載の反射性植物処理材料。
20. 織られたプラスチックテープから織られる、請求項17～19のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。
21. フィルムである、請求項17～19のいずれか1項記載の反射性植物処理材料。
22. 白色顔料を含むプラスチックテープとアルミニウム小片を含む別のテープから織られる、請求項20記載の反射性植物処理材料。
23. 部分的に金属アルミニウムで被覆された、請求項22記載の反射性植物処理材料。
24. 材料の左右面にわたって種々の水透過率を有する、請求項17～23記載の反射性植物処理材料。
25. 材料の長さの中心位置に沿って水不透過性を増加させる被覆材で被覆されている、請求項24記載の反射性植物処理材料。
26. 材料のストリップの長軸側縁に沿って水不透過性を増加させる被覆材で被覆されているが前記材料の長さの中心部分に沿っては被覆されていない、請求項25記載の反射性植物処理材料。
27. 少なくとも10質量%の白色顔料を含む複数のプラスチックテープから織られる、UV、可視およびNIR領域の放射に対して高い反射率を有する、織られた反射性植物処理材料。
28. プラスチックテープが少なくとも20質量%の白色顔料を有する、請求項27記載の織られた反射性植物処理材料。
29. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、マグネシウムジルコネート、カルシウムジルコネート、ストロンチウムジルコネート、バリウムジルコネート、ケイ酸ジルコニウム、炭酸カルシウム、硫酸バリウム、酸化マグネシウム、炭酸ストロンチウムおよび炭酸バリウムから選ばれる、請求項28記載の織られた反射性植物処理材料。
30. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、硫酸バリウムおよび炭酸カルシウムからな

る群より選ばれる、請求項29記載の反射性植物処理材料。

31. ポリオレフィンを含む押出成型可能な樹脂であって、少なくとも20質量%の白顔料が混合されている前記樹脂を提供する工程；

前記樹脂をフィルムに押出成型する工程；

前記フィルムをプラスチックテープに切断する工程；

前記プラスチックテープを強度が増加するように配向する、または前記フィルムをプラスチックテープに切断する前に前記フィルムを配向する工程；および、

前記プラスチックテープの少なくとも大部分から織られた反射性植物処理材料を織る工程、

を含む、織られた反射性植物処理材料を製造する方法。

32. プラスチックテープが少なくとも20質量%の白色顔料を有する、請求項31記載の方法。

33. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、マグネシウムジルコネート、カルシウムジルコネート、ストロンチウムジルコネート、バリウムジルコネート、ケイ酸ジルコニウム、炭酸カルシウム、硫酸バリウム、酸化マグネシウム、炭酸ストロンチウムおよび炭酸バリウムから選ばれる、請求項31または32記載の方法。

34. 白色顔料が二酸化ジルコニウム、硫酸バリウムおよび炭酸カルシウムからなる群より選ばれる、請求項33記載の方法。

35. 請求項31～34のいずれか1項記載の方法によって製造される反射性植物処理材料。

36. 請求項1～30のいずれか1項または請求項35記載の反射性植物処理材料を植物および／または果実に対して光を反射するように配置することを含む、植物および／または果実の発育を促進するための植物処理方法。